

平成 19 年第 1 回定例会の開会にあたり、教育行政報告を申し上げます。

1 小学校の適正規模・適正配置について

初めに、小学校の適正規模・適正配置についてであります。平成 17 年 6 月、北広島市立小学校及び中学校通学区域審議会に諮問し、同年 11 月、適正規模に関して中間答申を受け、昨年 12 月には適正配置に関しまして「適正規模に満たない北広島団地内 4 小学校について、広葉小学校と若葉小学校、高台小学校と緑陽小学校を統合し 2 校とすることが望ましい。」との最終答申を受けました。

教育委員会といたしましては、答申内容を尊重し、児童の教育環境整備のため、統合を前提に使用する校舎の検討を行い、一定の方針が固まり次第、保護者・地域の方々に説明会を開催し、広く皆様方のご意見をお聴きしながら、北広島団地内 4 小学校の適正配置を進めてまいりたいと考えております。

2 第 1 回はなます杯全国中学生空手道選抜大会について

次に、第 1 回はなます杯全国中学生空手道選抜大会についてであります。この大会は、財団法人全日本空手道連盟と北広島市の共催で、平成 19 年 3 月 28 日から 30 日までの 3 日間の日程で総合体育館を会場に開催いたします。

この大会に出場する選手は、各都道府県から選抜された中学 1、2 年生の男女で、形及び組手の 8 部門に総勢 1,100 名ほどの参加が予定されております。選手のほか、審判、役員等を含めると 2,000 名を超える規模となり、平成元年に開催された「はなます国体」を上回る全国大会となる見込みであり、一人ひとりの選手にとって思い出に残る大会になるよう努めてまいります。

また、1 月 20 日に開催されました北海道予選大会では、市内西部中学校 2 年小原鴻之介君と、大曲中学校 1 年の定岡明香子さんが組手で優勝し、全国大会出場を果たしており、市民の皆様とともに健闘を期待しているところであります。

以上を申し上げ、行政報告といたします。